

## 月曜礼拝の法話

『4月の月曜礼拝の歌 ～「ね ね」』

「ね ね」

のんのののさま お花がおすき

ね ね なかよくみんなであげましょう

のんのののさま おうたがおすき

ね ね なかよくみんなでうたいましょう

月曜礼拝で歌う歌に「ね ね」があります。ののさまはお花がおすき、と歌います。お花を飾ってお供えするのはどうしてか、お話しします。

お花が咲くところはきれいですね。見ていて気持ちいいです。それは、そのお花のいのちがいっぱいにひらく様子だからでしょう。ののさまは私たち一人一人に、あなたのいのちはこの上なく尊いです、と呼び掛けてくれています。お花が咲いているのは、ほとけさまの世界を表しているようです。

また、お花を切ってきて花瓶に入れておくのですが、そのうちにしおれて枯れていきます。これは全てのものは移り変わっていくということを私たちに教えてくれています。いま、ここにあるいのちはこの上なく尊いことだと教えてくれています。

そのように教えてもらって、さあどうしましょうか。

いま、ここにあるいのちの尊さ、すばらしさをみんなで一緒に大切にするといいですね。大切にする方法の一つとして、みんなで一緒に歌うこともできるでしょう。みんながいま、ここにあるいのちを大切にしていればよろこぶことがほとけさまの願いですから、ののさまはおうたがおすき、なかよくみんなでうたいましょう。